



校報

水糸者

No. 1244

元年度・第103号

セシリアに響けた種小っ子の心

♪♪「感謝」・「笑顔」・「感動」を届けた音楽発表会 ♪♪

25日（金）にセシリアホールで『洋野町小・中学校音楽発表会』が開かれました。

子ども達は楽しい音と良い音をめざして長い期間の練習に励んできました。

本番前での練習では今まで学んできた事や今日やる事の確認をし、3・4年生の心を一つにして会場に入りました。子ども達は、大舞台でも今までの練習の成果を発揮しいつも通りの音楽大好きな姿を示し、『笑顔の輪で感動をつたえよう』ができました。



夢の舞台に立つ喜びを味わっている種小っ子

〔音楽会・ドキュメント〕



開会式前の子どもの様子。初めて参加の3年生は緊張の表情です。4年生は、昨年度の経験があるせいか余裕です。家を人が来ているか探す4年生の姿。



①

子ども達の心を一つし、今までの道のりを味わいながら指揮をする工藤先生。正確なリズムを刻む指揮ぶりは、ボストン交響楽団時代の小澤征爾さんのようでした。

練習の成果をしっかりと発揮した83人の子ども達。冷静かつ情熱的な指揮で、会場いっぱいに歌声を届けた高橋先生の指揮は、往年の名指揮者、ラファエル・クーベリックさんのようでした。



②



練習の成果を発揮し、今までで一番良い表情で歌声とリコーダーを響かせました。



③

名器『スタインウェイ&サンズ』から奏でられた藍先生の温かで端正な音色と姿は、往年の名ピアニストのアルフред・ブレンデルのようでした。

④



〈講評；洋野町教育委員会 田口指導主事さんより〉

「合奏：スーパーカリフラジリスティックエキスパリアドーシャス」について

・リコーダーの皆さんは指を見ないで演奏ができていてすばらしいです。

鍵盤ハーモニカの皆さんはとても楽しそうに吹いている姿が印象的でした。

グロッケンของ皆さんも息が合っていました。タンブリンチームのリズムが楽しい雰囲気を作り上げていました。ディズニーの楽しい雰囲気が伝わってくる演奏でした。

「合唱：あした笑顔になあれ」について

・しっかり体を使い、しっかり声を遠くまで飛ばそうと歌っていました。

「あした笑顔になあれ」のとおり、表情もにこやかでした。高い声になった時、

美しい歌声になってきていますね。83人の笑顔・思いが伝わってくる素敵な演奏でした。



…セシリアに立つまでの子ども達…

今回のような町内の全小学校が集うような大舞台でも、緊張や委縮しないでいつも通りの『びんびん・にこにこ元気種小っ子』の姿で生き生きと発表している子ども達の姿からは、今までの練習や学校生活から得た自信と誇りそして責任感や自覚、友と共に歌う喜びが伝わってきました。



24日の「校内発表会&壮行会」の様子



舞台上がる前の最後の練習風景



教室近くの廊下には、今までの頑張りが伝わってくる、たくさんの注意事項や確認事項が書き込まれた歌詞表が残されていました。

今回、演奏した3.4年生の中には歌やリコーダーが「うまい子」も「苦手な子」もいます。「苦手な子」や「できない子」には、助け合いながらセシリアの舞台を迎えました。

友と共に頑張りぬく事、クラスの友はかけがえのない存在であることなど、たくさんの学びがあった素晴らしい取り組みとなりました。藍先生の伴奏に乗り、工藤、高橋先生の指揮をしっかり見て、元気に歌い演奏する種小っ子には『音が苦』ではなく、音が好きな音が楽しい、文字通りの『音楽』がありました。

会場においでくださった保護者の皆さんからの笑顔と温かい拍手をいただき、子ども達も満足気でした。

これからも種市小学校は、音楽や表現することが大好きな子どもを育てていきます。最後まで温かいご声援、ありがとうございます。



演奏後のほっとした表情

やり切った満足感と充実感、本番での出来栄に学校に戻ってきた3.4年生はまだ興奮状態でした。今日までの道のりは、楽しい練習だけではなく苦しい嫌な練習もあったはずですが、それを乗り越えてきた原動力は「感謝を伝えたい。」という子ども達の気持ちにあったと思います。続けてきた頑張りやセシリアホールの皆さんに「笑顔」と「感動」を届けたのだと思います。やり遂げた3.4年生の目はもう次の目標「学習発表会」に向いていました。